

研究名： 気管支粘膜生検を実施した患者の臨床的特徴の後方視的検討

1．研究の目的

繰り返す下気道炎や胸部異常陰影などを理由に気管支粘膜生検が実施された患者さんの症状や検査所見などの臨床的特徴を診療録から後方視的に検討します。検査を受けた方の臨床像を把握し、特に原発性線毛機能不全症の診断への寄与や検査の安全性などについて検討します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2002年3月～2021年2月までに繰り返す下気道炎や胸部異常陰影などを理由に気管支粘膜生検が実施された方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月

研究方法：繰り返す下気道炎や胸部異常陰影などを理由に気管支粘膜生検が実施された方を対象に、診療録から情報を調査します。

3．研究に用いる情報の種類

臨床所見（年齢、性別、臨床経過）、画像所見（レントゲン、CT）、気管支粘膜生検（部位、方法、合併症、使用薬剤、顕微鏡画像所見）、その他検査（培養、気管支肺胞洗浄、遺伝子検査、サッカリンテスト、血液検査、呼吸機能）など

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 呼吸器科 玉井直敬（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7803）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 呼吸器科 玉井直敬（責任者氏名）